

重点分野2 (中目標)	社会的包摂性の促進と格差是正に資する支援												
開発課題2-1 (小目標)	【現状と課題】 カーボベルデは、穀物生産が困難な土地条件によって多くの食料を輸入に依存している。また、主な収入源となっている観光収入、海外出稼ぎ労働者からの送金、海外直接投資（FDI）は欧州経済の動向の影響を受けやすく、経済構造上の脆弱性を抱えているため、依然として所得格差が大きく、一日1.2ユーロ以下で暮らす貧困層が存在する。そのため、食料安全保障の確保や格差是正に資する支援が重要である。 また、2020年3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大により、医療施設の人的・設備的能力に大きな負担がかかるとともに、移民送金に依存する村落部の住民の経済・社会状況が悪化している。					【開発課題への対応方針】 草の根・人間の安全保障及び食糧援助等の無償資金協力を活用して食料安全保障の確保及び格差是正に資する支援を実施し、貧困削減に貢献する。 新型コロナウイルスによる経済・社会的影響を緩和するため、食糧援助等の既存のスキームを活用した支援等を検討する。							
基礎的社会開発支援	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
					2020年度以前	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度			
			食糧援助(2019年度)	食糧援助	■						2.00	1, 2	
			食糧援助(2020年度)	食糧援助	■	■					2.50	1, 2	
			社会基盤整備分野等の課題別研修	課題別研修他	■							1, 2, 3, 4	
			社会基盤整備分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■					0.99	4, 5	

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「O省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線「——」」(=実施期間)、「破線「----」」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf